

Under the age of 18
can not buy

R18
ADULT ONLY



ようこそ、我が家へ。

— Welcome home to our house —





シグレ... 今日もし苦勞さま

明日もよろしくな...

俺は...主の 使い魔ですから...

もっと... 使ってくださいら...

今夜も... 主ので...

お腹いっぱいにしてえ...

あ...

それじゃあ
行ってきます

これから大きな台風が
来るって言うてるから
戸締り気をつけて

いつも思うのだが：
人間は台風が来ると
わかっていても仕事に
行くのだな…

仕事とは
自分の命よりも大切な
ものなのだな…



マズい
主の鬱スイッチを
押ししてしまった…

マフマフ

あんまり言わないでよ…
仕事しないと俺や
お前が食べて
行けずに路頭に迷うんだ

頑張っても業績は鳴かず
飛ばず…あれ？
何で俺って生きてんの？

お回

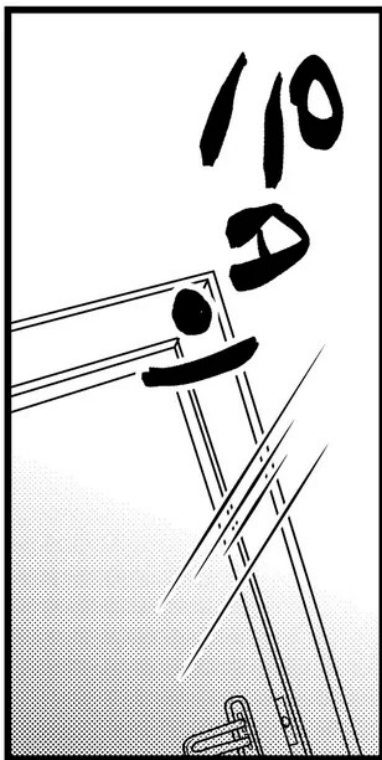
すまない！何でもない！！
家のことは俺に任せて
主は仕事に精を出せっ！

はい
行ってらっしゃい！！

あ、ああ
そんな押さなくても行くよ！
行ってきますすよ！！

はいガンバってー

おわっ！！



三年前
俺は主に拾われた

主は
魔術師だ

瀕死だった俺を
使い魔にして
自らの魔力を与える事で
生かしてくれている

しかし今は
普通に会社に通って
生計を立てている

魔術師は代々受け継がれる
稼業らしく
長く続く家系によくある
本家と分家の確執、派閥争い

そういったものに
巻き込まれるに
嫌気がさして

彼は独り
家を出たらしい

雨の匂いだ…



シングル!!
タオル持ってきてっ!!

たがいてっ!!

それから
湯たんぽも!!

ホタ

ホタ

ホタ



何だ?
雨に濡れて寒いなら
風呂に入れば良いだろう?

もう沸いて……?

パタ

パタ



ネコ：
二匹いるな…しかも
かなり弱ってる

公園の茂みの奥で
鳴いてたんだ

この雨だから放って
おけなくて…

とりあえず拭いて
身体を温めよう

俺はネコ用のミルクを
買ってくる

いや…
もうミルクを飲む
力もないと思う

三毛猫は腹のあたりに
傷があつて
そこが酷く化膿してる

灰色の方も息はあるけど
体温がとて低くて…
かろうじて息をしている
状態なんだよ

灰色のこの子…
三毛に覆いかぶさつて
雨よけ役になってみたい

この子はずぶ濡れだけど
三毛はほとんど
濡れてないんだ…

なあ…

シグレ…



シグレ…



わかってる…
この子達を
助けたいんだろう？

俺はお前に従う
この主人はお前だ…

俺はあんたの
使い魔だからな

従うのが
道理だろう？



今日から
お前たちも家族だ…

よろしくな

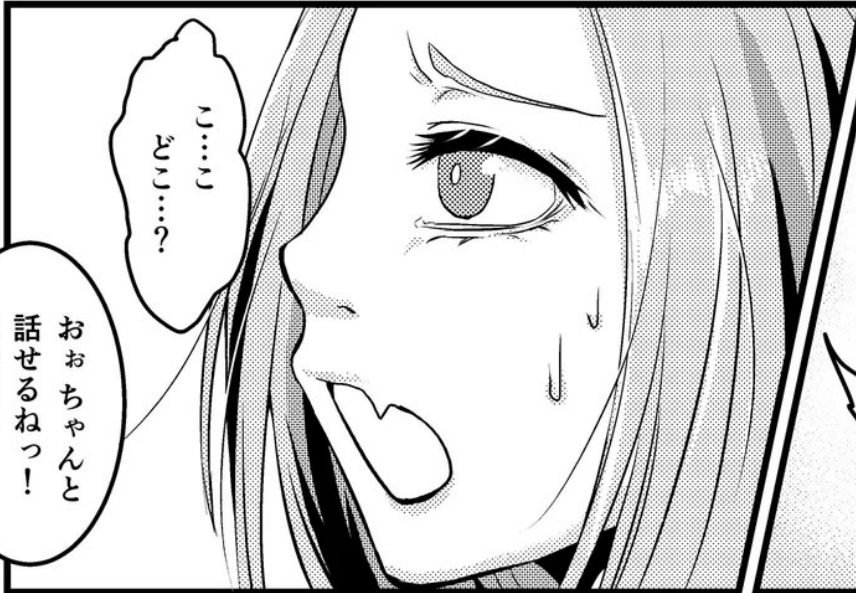


ああ…

あたたかい…

ガッ

はっ



おおちゃんと話せるねっ！成功だ！！



起きたかい？

!!!



人間の子どもが寝てるだけじゃないか!!



何言ってるんだよ!!



お前たち台風の中で震えてたんだぞ

そうだ!! あの子は？

うしろ



驚くな
とは言わないけど

大声は出さないで
くれると嬉しいな

はい
鏡持って
覗いてみて



あれ？
そういえばいつもより
見え方が高い…？



それに人間の手が
やけに
視界に入る…

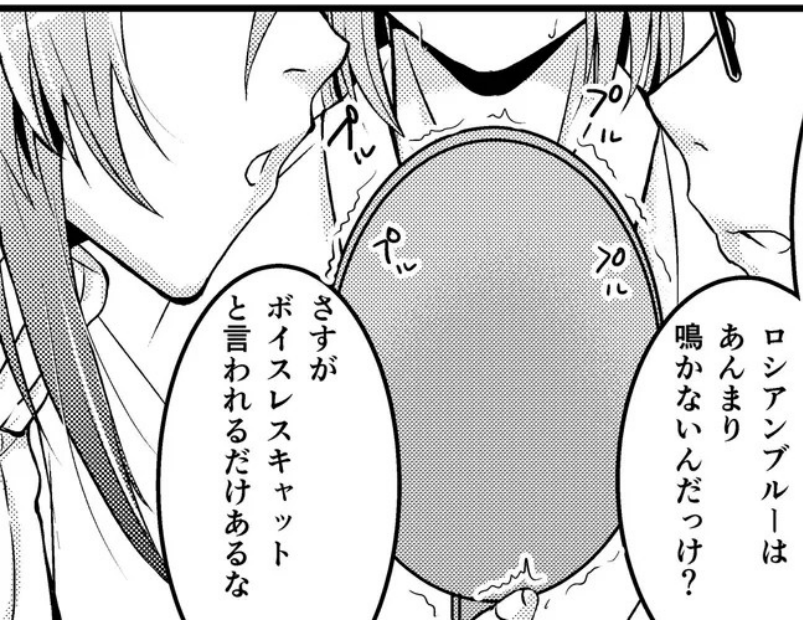
しかも俺の思った
通り動く…
気がする…

なんだこれ…？



人間…？

…がいる…



さすが
ボイスレスキャット
と言われるだけあるな

あんまり
鳴かないんだっけ？

その反応は…現状が
分かったみたいだね
偉いぞ大声出さなかった

そういえば

ロシアアンブルは





大丈夫
ふさがってるよ

お前が雨避けになつてた
おかげで体力が保てて
間に合ったんだよ

そうでなきゃこの子
手遅れになつてたよ



あつ…
腹の傷は!?

ぼっ



じゃあ
こっちで寝てるのは…

一緒にいた三毛猫だ
主が助けた



ミケは…

ということは…
こいつ
オス…なの…?

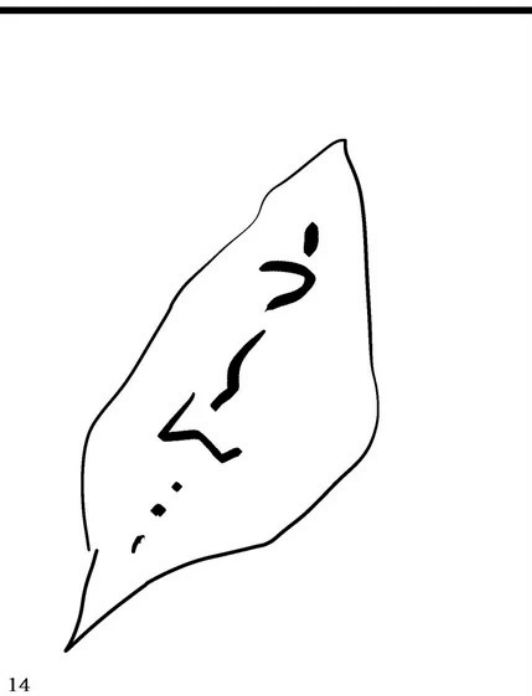


…って
股間に…袋が
付いている…



良かったあ…

おや…

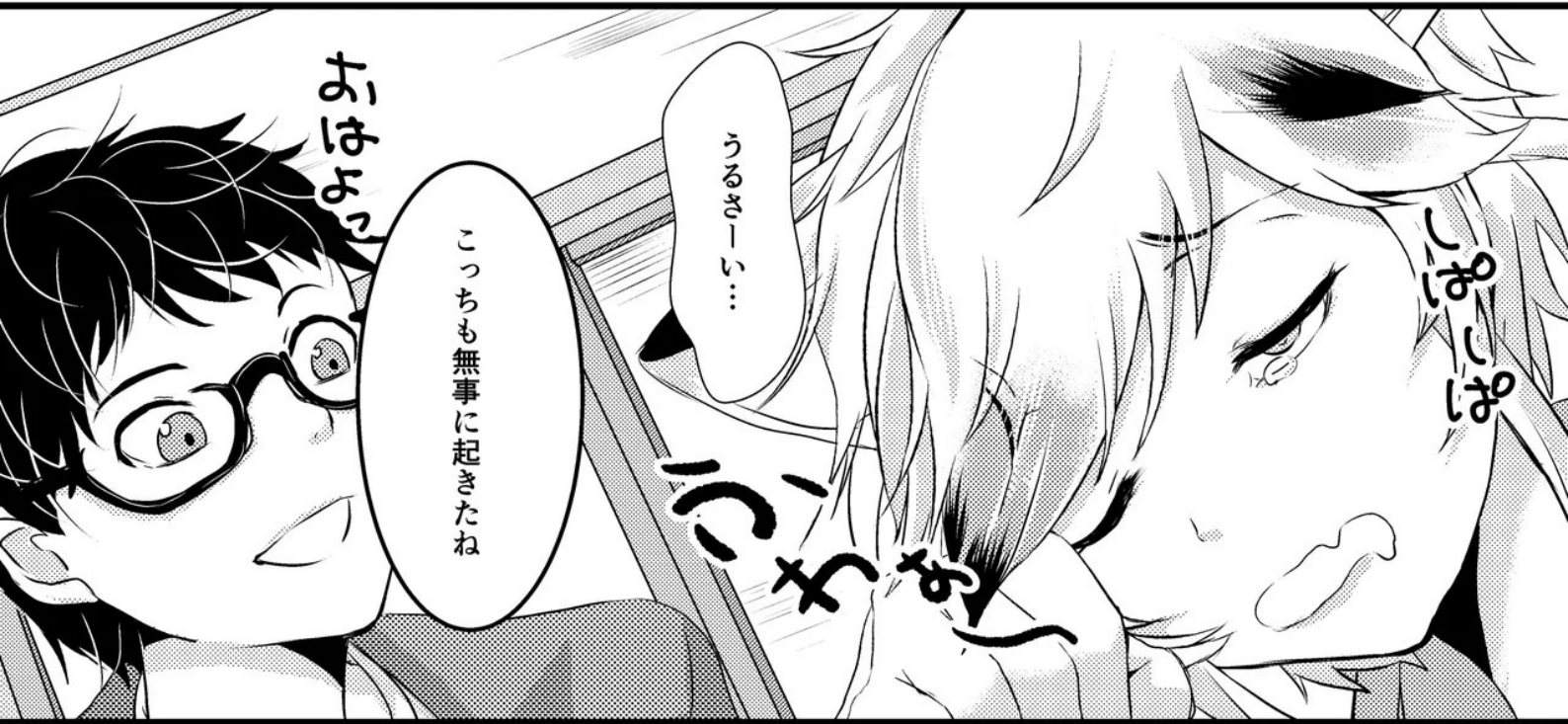


嘘だろ…!!!

ミケ

あ…
そこは鳴くんだね

まあミケのオスは
非常に珍しいからな
驚くのも仕方ない…



こっちも無事に起きたね

うわーい...

しゅーしゅー



それよりぼくおなかすいたー

なにその音？
腹に何か飼ってるの？



腹は痛くないかい？

少しチクチクするけどだいじょうぶー



じゃあみんなでご飯にするか！

おお大きな声出てるねえ
上出来じょうでき！

それでは食事の用意をしてくる

あーかーと
ミグー

ごはんー!!!

うおーな



みんな揃った
ところで…

まずは自己紹介するね
俺はこの家主
葛葉はるあき

食べながら
聞いてね

こっちの長髪は
シングル

お前たち
名前は…?



ないよー
ちよつと前まで人間と
お母さんといっしょ
だったけど

いつの間にか
外にいたー
だから名前ない

そうだな…
じゃあ嵐の日に会ったらから
アラシってどう?

また安直な…

いいよー
今日からぼく
アラシになるー

え? そんなあつさり?
まあ本人がいい
なら良いが…



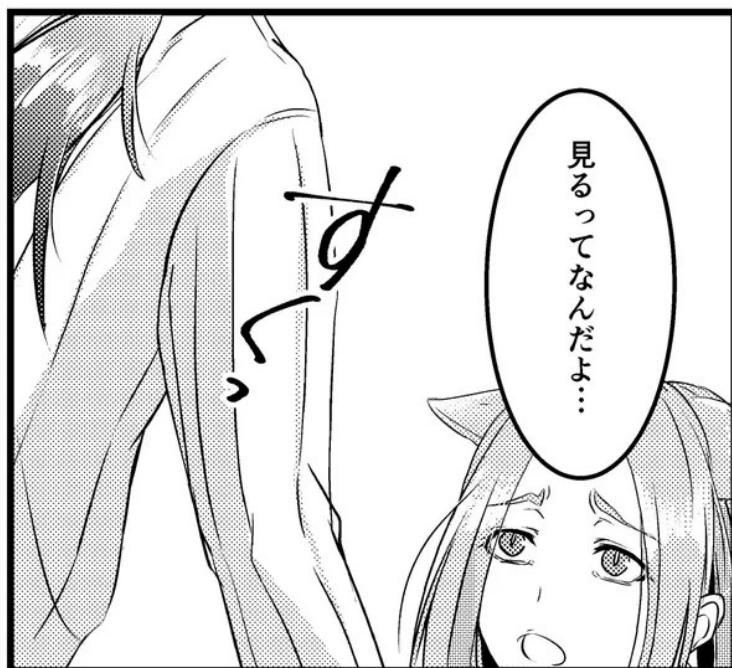
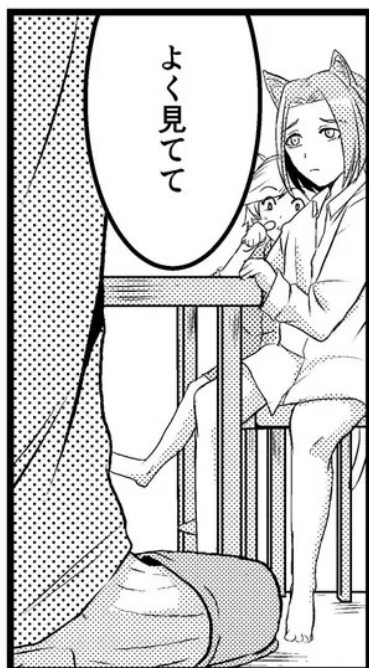
そんな事より…
何で俺たちこんな姿に
なってるの?

この前まで
公園で雨に濡れてた
猫だったのに…

信じてもらえないかも
しれないけど…

えーと
俺ね…

実は
魔術師なんだ



俺も主に拾われた猫だ
そして俺は主の
使い魔になった

今はこうして
一緒に暮らしている

じゃあ俺も知らない間に
こいつの魔術でこの姿に
なったって事？

本当に…
人間の姿に…!!

帰る…

かた…
帰るって…
お前は捨て猫じゃないの？

耳付きでも
人間の姿になれるなら
ここにいるわけには
いかない…

返せるものが
何もないから
お礼だけしか言えないけど

助けてくれて
ありがと…

えっ？
ちょっと待て!!

さすが猫
素早い…

そんな事言ってる場合か！
まだこの身体になりたてで
魔力も足りて無いはず…

このまま放っておいたら
すぐに倒れすぞ！

アラシ
お前あいつが行きそうな
場所しってるか？

わかんないー

あと靴ぐらい
履いていっても
良かったのに…

けどあの子からはいろんな
お花の良い匂いがしたよ？

あと
いろんな人においも
した気がするー

花と人…この近くに
花屋はないよね？

確かここから東に
行った所に華道教室
があったはずだ

お前
良く知ってるねえ

買い物へ行く時に
あの道は通るからな

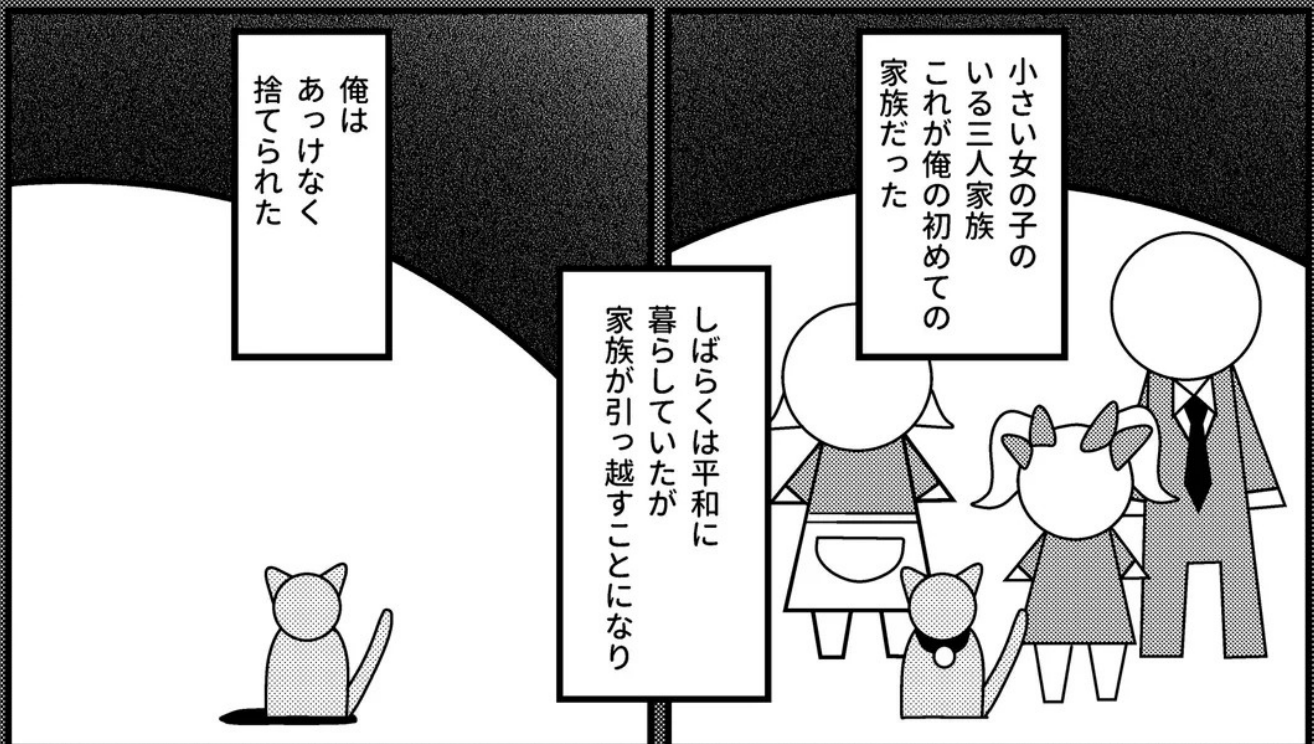
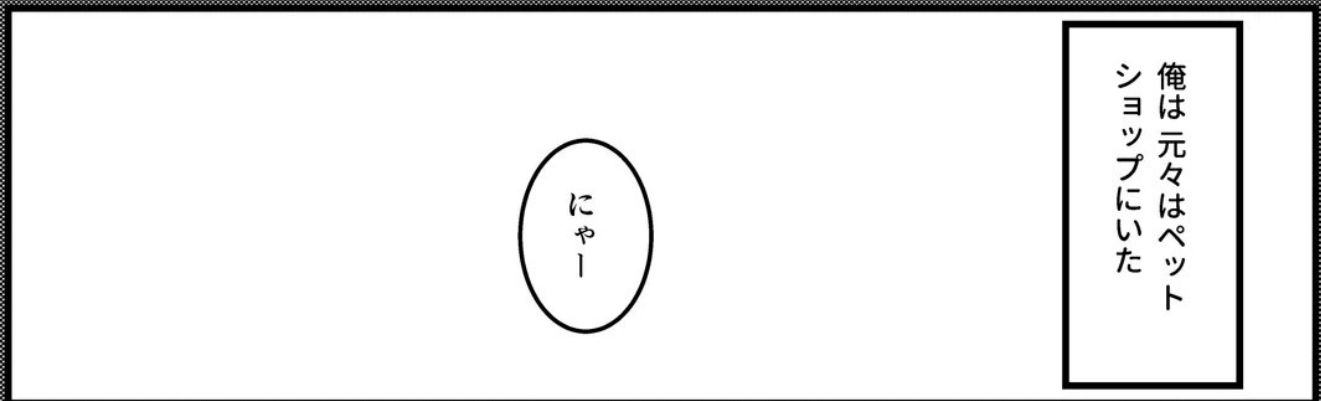
というか建築、地形を覚え
るのは魔術師の基本…
魔術

常に周りには気を配り
いついかなる時自分の
置かれ

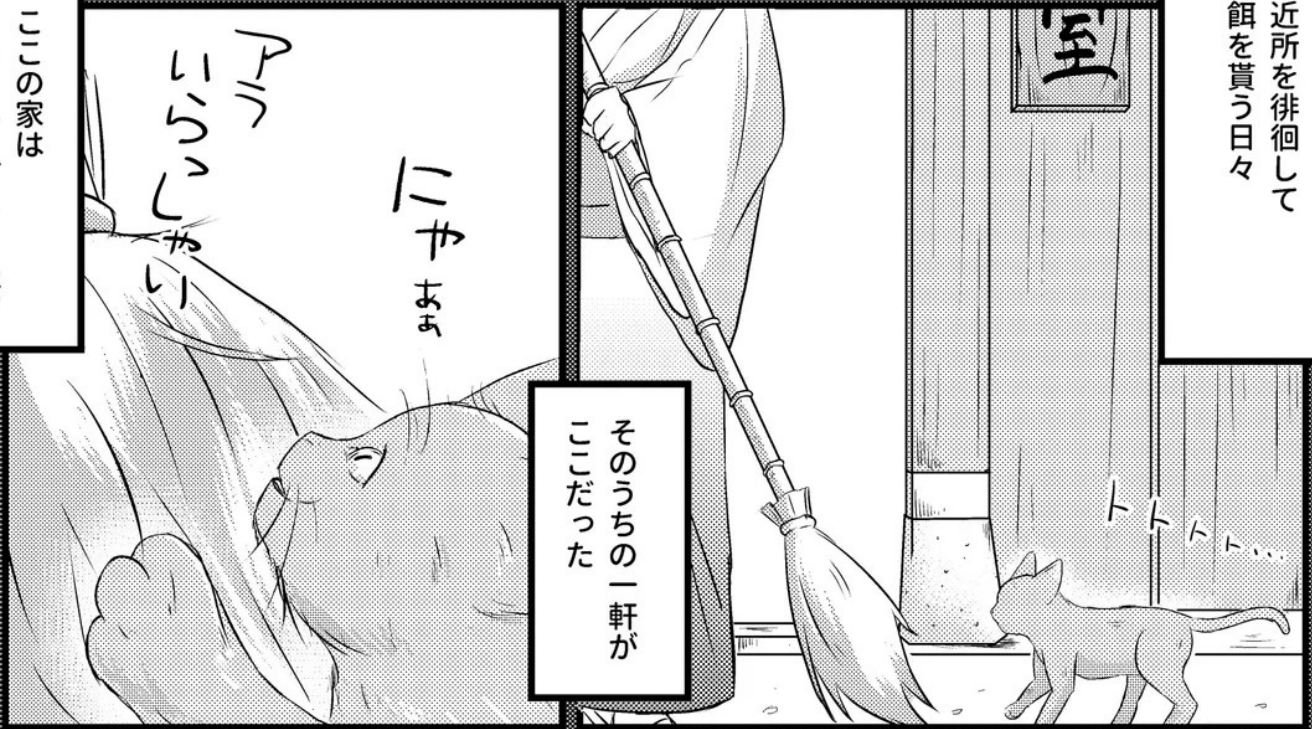
はいはい、お説教は
また後で聞きますー

お前はアラシと待ってて
迎えに行ってくる

わかった！
あの子を頼む！



近所を徘徊して
餌を貰う日々



そのうちの
一軒が
ここだった

ニヤ
あま

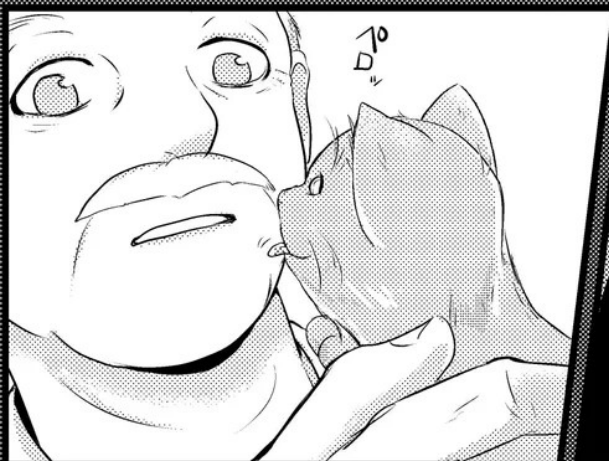
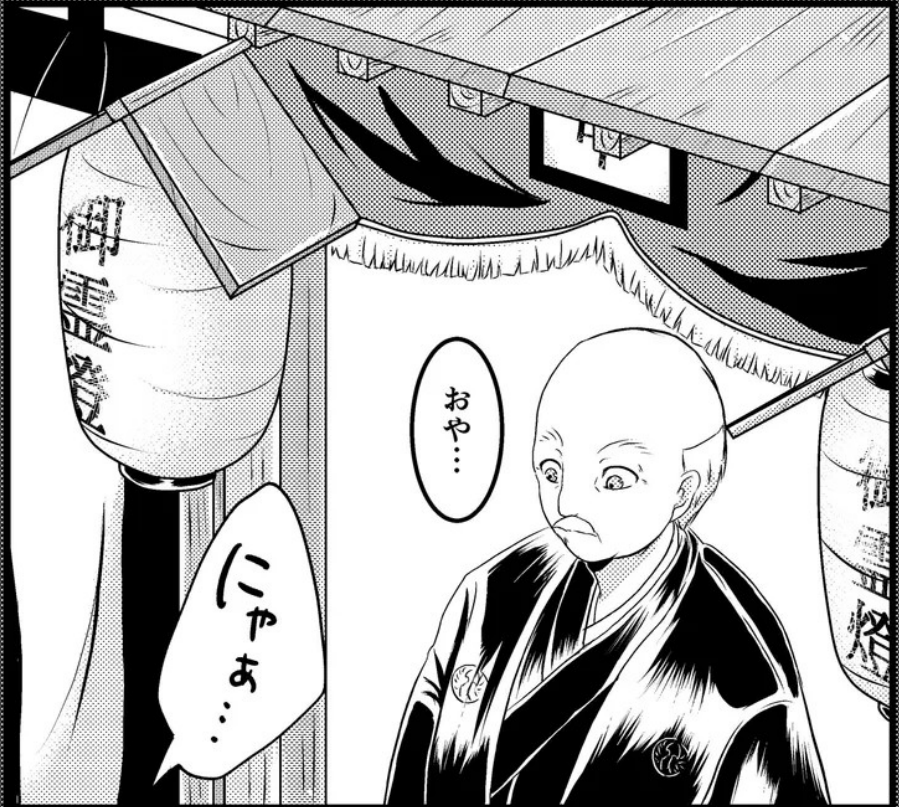
ア
い
い
い
い
い
い

この家は
じいさんとばあさんが
二人で暮らしていた

無理に触られたり
構われたりしなくて
居心地がいい



この二人からは
優しい匂いがしていた





にゃー

おおそうか、良いか！
じゃあ名前をつけなきゃな

ばあさん…節子さんも
お前が好きだったからな
セツコに…ん？？



気ままな野良の身の上も
良いだろうが…
この寂しいじいさんと
一緒に住んでくれんか？

お前は優しい子だな…



この日から俺は「セツ」にり
このじいさんの所で
お世話になる

これから
よろしく頼むよ
セツ



毛並みの綺麗さが
目に留まって気付かん
かったが…

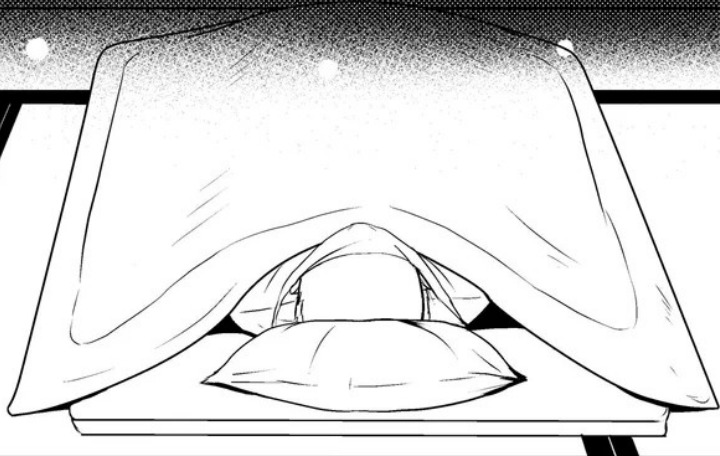
お前オスか…
じゃあ子はおかしいな
セツにしよう



それから
あつという間に一年が経ち

ばあさんの後を追うように

じいさんは死んだ





最後は血を吐いて

うずくまり
苦しんでいた



じいさんは
ばあさんが居なくなってから
心労を募らせ
見る間に体調を崩していった



助けを呼ぶことなど
もちろんできず

俺は冷たくなってゆく
じいさんの隣で

ただ鳴くことしか
できなかった…

この華道教室どうする？
遺書は出てきた？

元々節子叔母さんが
道楽で始めたようなもんだし…

ああ、人間は嫌だ

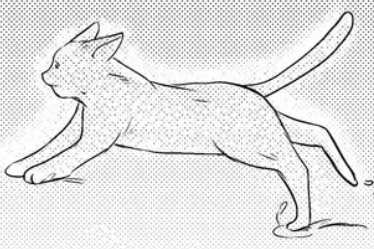
人間は自分達以外をモノとして扱う

あとはこのネコだな
誰か飼えないのか？

うちはもう犬が…

ウチはマンション…

じゃあ保健所か…



でも俺が人間なら

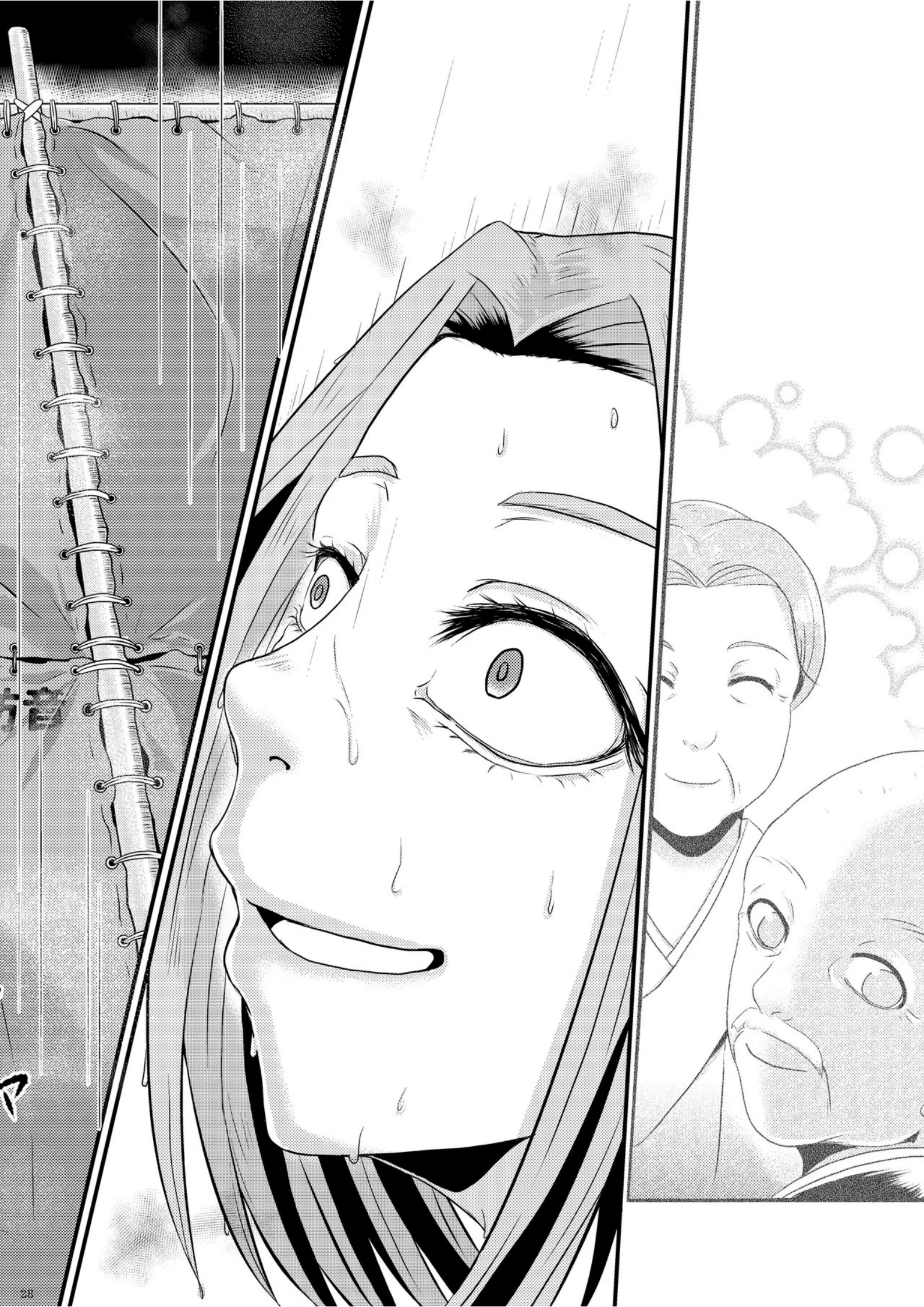
じいさんを
助けられたかもと
ずっと思っていた

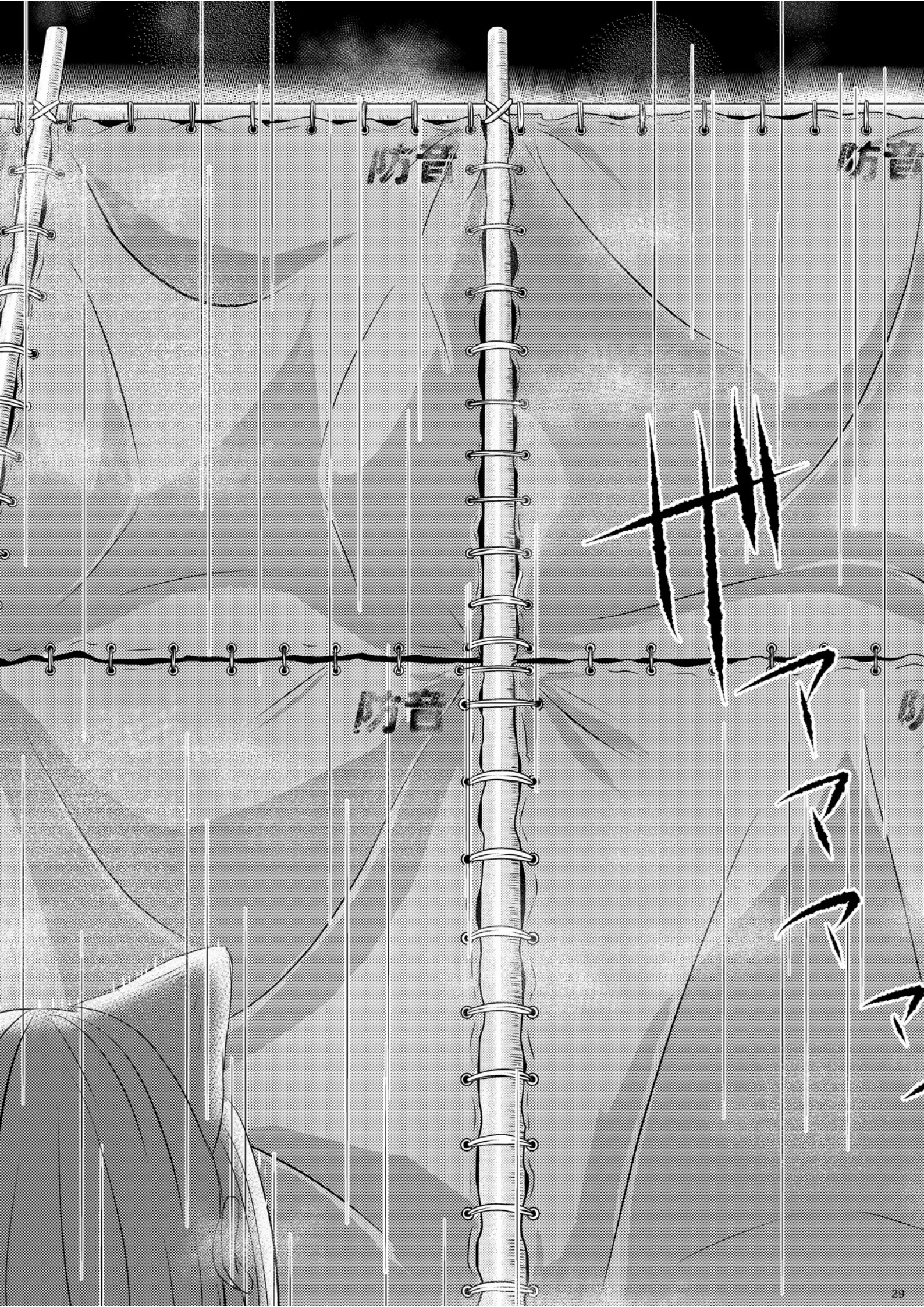


人間の姿の今なら
あの家だけでもなんとか
なるかも知れない

この角を曲がれば







防音

防音

防音

防音

ア
ア
ア
ア



数日前から
取壊しているって
シグレが…



ここマンションに
なるんだって…





ガ
チ
カ

おかえり

おかえりなさいー

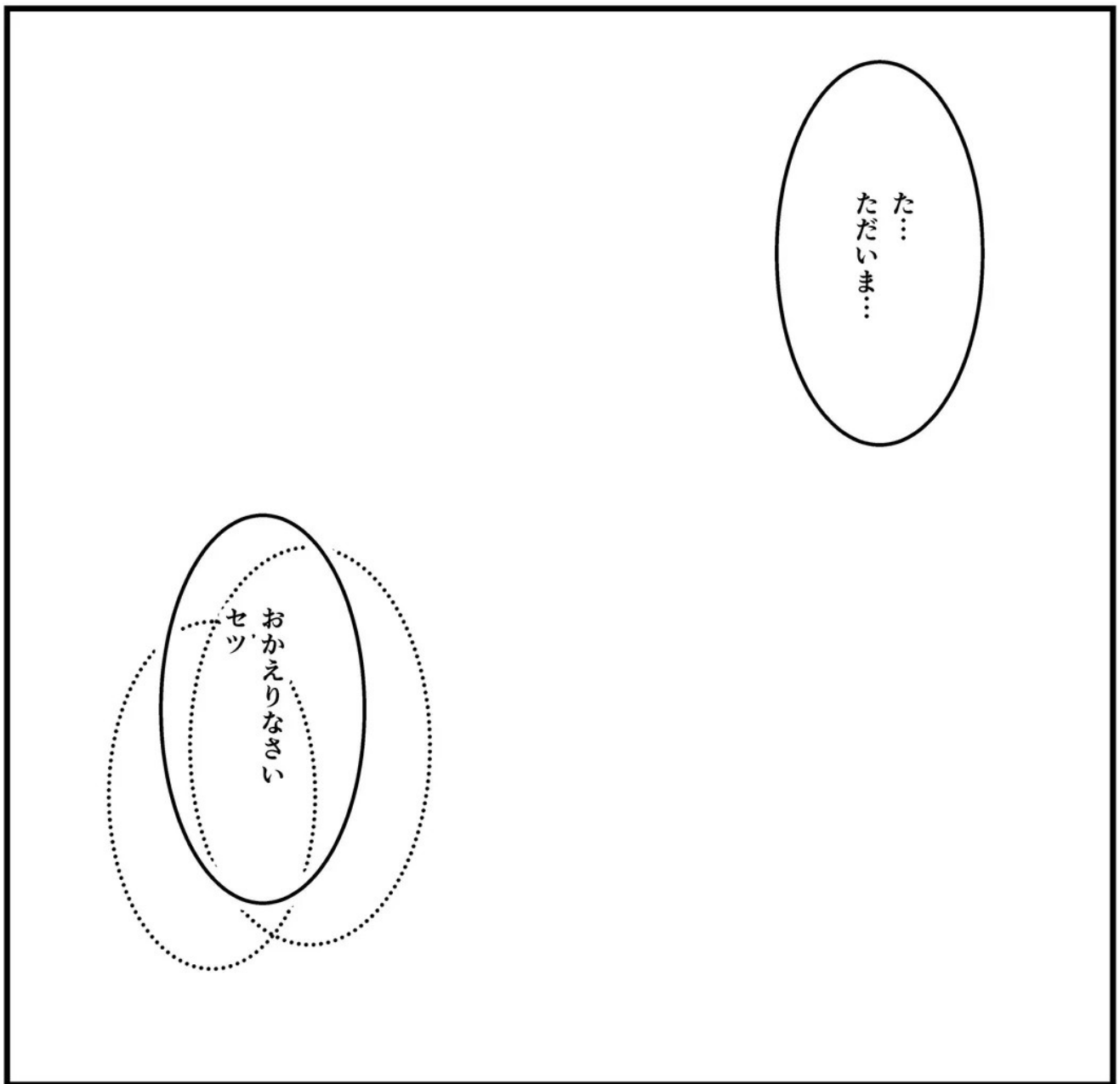
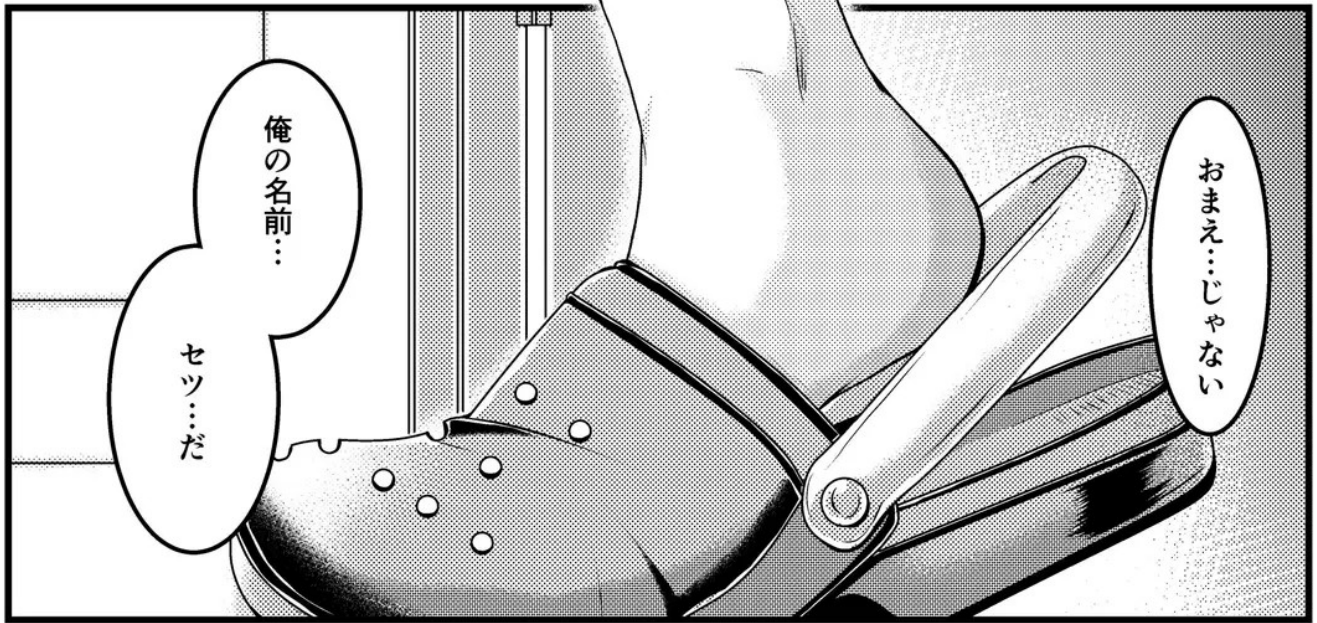
ただいま

ほら
大丈夫だから

ちやんと
かえって
ごきげん
なさいー

ここには
お前を捨てようなんて
思う奴はいない

いらなんなんて
誰も言わないよ



二冊目描きあげることができました。
間に合って良かったとホッとしています。

最近、AVの自己紹介パートも好きになって
きました。この本はそんな立ち位置だと
思って読んで頂けると幸いです。

何をお伝えしたいかと言うと
「今回全然エロくなくてごめんなさい。
次からが本番です！頑張って描きます！」
です。本当は一冊にまとめるつもりでしたが
技術と精神力と筆の速さが足りませんでした…

続きは使い魔三匹のショタおに展開を
予定しています。

大きいお兄さんがチビっ子相手に
情けない声出すの良いよね！

チビっ子が一心不乱に頑張ってる姿
可愛いよね！！

そんなお話になるよう頑張ります！

お手に取って頂きありがとうございました。

2017/12/31 なおと

ようこそ、我が家へ。

2017/12/31 コミックマーケット93

発行：椿ドロップス/飴宮なおと

mail : karakurenai.candy@gmail.com

Pixiv : 17703960

Twitter : NaotoCandy

印刷：株式会社 栄光様

※18歳未満の閲覧・購読厳禁

※無断転載・複製・複写・インターネット上への掲載
(SNS・ネットオークション・フリマアプリ含む)禁止



20171231 Winter
presents by Tsubaki_Drops
Original Adult COMIC